

IV 教科に関する特徴的な問題

(1) 小学校国語

インタビューメモを基に、話し手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開に沿って質問したりすることができるかどうか問われています。(国語B「活用」)

< 調査問題国語B >

1

山下さんは、食について興味を持ち始めたこと、もっと知りたいことが出てきたので、地域のスーパーマーケットの店長にインタビューをするに決めた。次は、山下さんが「事前に準備したインタビューメモ」と「インタビューの一部」です。これらをよく読んで、おののけに答えよう。

事前に準備したインタビューメモ

もっと知りたいこと
スーパーマーケットの食料品売り場では、お客さんの要望に応じたものが売られているのだから、

(食料品売り場について調べたこと)
スーパーマーケットでは、様々な外国産の食料品がほんま売られている。
外国産の食料品は売られているのか。
(予想) わだんが安いから、売れている。
地域で生産された農作物などはほんま売られているのか。
(予想) 新じゃがなどのものでいきよするた。

(必ず聞くこと)
わだんが安いものが売られているのか。
最近売れている食料品は何か。
お客さんの反応はどうか。
地域産品についてどのようか考えているか。

(お客さんに応じて聞くこと)

「インタビュー(一部)」

山下さん スーパーマーケットでは、様々な外国産の食料品が売られているようですが、外国産の食料品はよく売られていますか。

店長 よく売れている食料品もあります。

山下さん 売れている食料品は種類が安いですか。

店長 そうですね。売れている外国産の食料品は値段の安いものも多いです。

山下さん 売れている外国産の食料品は種類が安いのが多いということですが、安い食料品がお客さんに選ばれているのですか。

店長 安い食料品も売っていますが、産地に関わらず値段の高い食料品もお客様には選ばれています。

山下さん お客さんが安いというだけで選んでいるわけではない、ということですね。では、お客さんは他にどのような理由で食料品を選んでおられますか。

店長 新鮮さや品質がよく、安心して食べられるものを選んでおられるお客様もいらっしゃると思います。お客様は、様々な選び方をされているようですね。

山下さん 分かりました。お客さんの選び方には、いろいろあるんですね。今の話とも関係があると思うのですが、店内には地元産の農作物などを地元産で売っている地域のコーナーがありました。地元産の農作物もお客さんに選ばれているんですね。

店長 そうです。地元産のものはとても新鮮で、お客様にも「安心しておいしく食べられる」と、大好評です。

山下さん

「(インタビューが終了)」

二 「インタビューの一部」の では、山下さんは、どのような意図で質問をしていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 店長の発言を受けて、予想が正しいことを確認する質問をしようとしている。
- 2 店長の発言を受けて、予想のちがいを考えて新たな質問をしようとしている。
- 3 店長の発言を受けて、メモの内容に沿った質問をしようとしている。
- 4 店長の発言を受けて、予想を自分の言葉で言いかえて質問をしようとしている。

三 山下さんは、「インタビューの一部」の の中で、質問をしています。どのような質問をしたと考えられますか。次の条件に合わせて書きましよう。

(条件)

- 「事前に準備したインタビューメモ」の内容を使って質問をする。
- 「インタビューの一部」の 部の山下さんの質問のように、「店長」の発言をきっかけにする。
- 三十文字以上、五十文字以内で書く。

※ 空欄は横線は書き流すので、使っても構いません。解答は解答用紙に書きましよう。
※ ①の部は「読み出し」というだけで書き流すので、使っても構いません。

50字

問 1 の 二

	平均正答率	無解答率
京都府	51.1%	0.3%
全 国	51.1%	0.5%

問 1 の 三

	平均正答率	無解答率
京都府	53.8%	5.8%
全 国	50.4%	7.8%

☆話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。インタビューは、メモを見ながら、想定したとおりに質問を進めていくだけでなく、目的に応じて、メモを基にしながらも、実際の話の展開に応じて質問の仕方を変えたり、新たな質問を追加したりすることが大切である。

☆話すことと聞くこととは、同時に指導されるものである。聞くことを受動的な行為とのみ捉えるのではなく、必要に応じて聞き返したり、相手の話の内容を確認したり、補足説明を加えたりするといった主体的な聞き方を指導し、話し手と聞き手が補完し合うことによって、より効果的な情報の伝達が実現するということを児童が実感できるようにすることが大切である。

(2) 小学校算数

基準量、比較量、割合の関係を理解しているかどうかをみる問題（算数A「知識」）です。1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を正しく捉えることができるかが問われています。

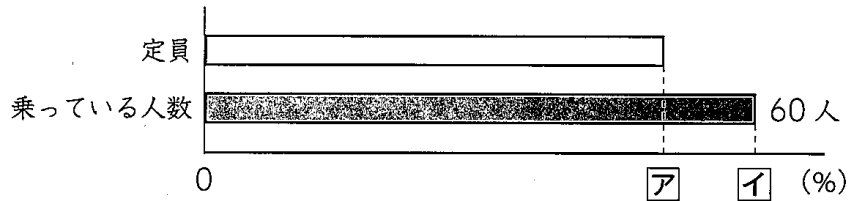
<調査問題 算数A>

9

次の問題に答えましょう。

- (2) バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。

定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。

「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

20 80 100 120

	平均正答率	無解答率
京都府	47.9%	4.0%
全国	50.9%	5.7%

☆昨年までの全国学力・学習状況調査結果において、「割合の意味を理解すること」や「示された情報から基準量を捉え、比較量と割合から基準量を求めること」に課題があるという指摘があり、これらの課題に基づいて出題されている。

☆京都府の正答率は、全国平均を3.0ポイント下回り、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに依然として課題がある。

☆指導に当たっては、基準量と比較量の関係を図や数直線を用いて捉える場面を設け、問題場面がどのようなことを表しているのかを理解するために図や数直線に表す過程を丁寧に確認していく学習が必要である。

(3) 中学校国語

辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えることができるかどうか問われています。(国語A 「知識」)

<調査問題 国語A>

ア 賛美
イ 優美

【漢和辞典】

羊 3画
【美】 9画
常用 (3年)

訓 うつくしい

筆順

、 一 一 一 一 一 一 一 一 一

美

会意。羊と大とを組み合わせて、形のよい大きなトシを表した字。

【意味】 ①うつくしい。うるわしい。「麗」
②うまい。おいしい。「食」
③ほめる。「褒」びき
④よい。立派である。「徳」

四次は、「漢和辞典」の「美」という字の説明の一部です。あとのアとイに使われている「美」の意味として最も適切なものを、「漢和辞典」の「意味」の①から④までのの中からそれぞれ一つ選ばなさい。

問9の四 ア

	平均正答率	無解答率
京都府	57.5%	0.6%
全国	60.3%	1.0%

問9の四 イ

	平均正答率	無解答率
京都府	61.0%	0.7%
全国	62.8%	1.0%

☆「美」という漢字を漢和辞典の項目で示し、そこに示された複数の意味のうち、「賛美」と「優美」の意味はどれにあたるのかを答えさせる問題です。
 ☆漢字の持つ複数の意味を、漢和辞典を用いて調べる学習活動などを通して、熟語の意味と結びつけながら適切に捉える必要があります。さらに、文脈に即して意味を捉えることができるような「読むこと」の指導や、語彙を増やすために幅広く読書することの指導が必要です。

(4) 中学校数学

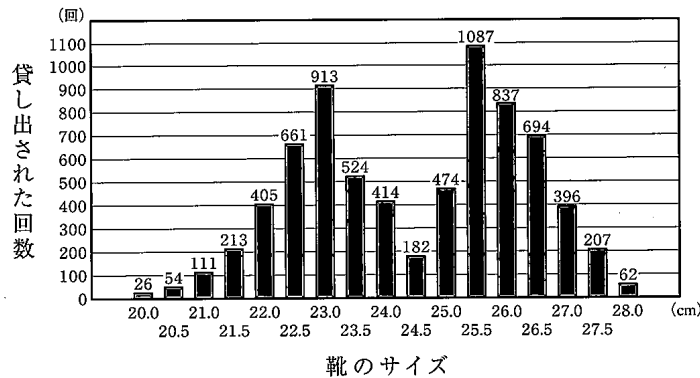
資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題（数学B「活用」）です。資料の分布の特徴や最頻値などを基にして判断した理由を数学的に表現することができるかが問われています。

<調査問題 数学B>

- 5 あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月に靴が貸し出された回数について調べました。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5 cm の靴は524回貸し出されたことがわかります。

調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

- (1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である24.5 cm の靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

	平均正答率	無解答率
京都府	49.8%	15.5%
全国	47.6%	19.3%

☆京都府の正答率は、全国平均を2.2ポイント上回り、無解答率も全国平均を3.8ポイント下回ってはいるが、資料の傾向を的確に捉えて判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することに依然として課題がある。
 ☆分布の形が異なる様々な資料について、資料の傾向を捉えるためにどの代表値を用いるとよいかを考察する活動を取り入れ、代表値の必要性和意味を理解し、適切な代表値を求めることができるように指導するとともに、資料の傾向を捉える判断の理由を代表値を用いて、簡潔にわかりやすく説明できるように指導することが大切である。